

事業計画書

団体名	しろいしプロジェクト
代表者役職・氏名	代表 永井京花
会員数	5名
団体の目的	文化・芸術への活動を通じて、生産から消費までの多様なコミュニティを作ること、白石の産業の経営と生活を守ることを目的とする。
事業申請回数	2回目（過去の申請年度：令和6年）
事業名	白石和紙の可能性を発見するレジデンスプログラム
まちづくり宣言 ※1	A-7 城下町白石としての風情・伝統・文化と、きれいな水・美しい自然を守りながら、活気あふれる魅力的なまちにしていきます。
現状の課題と 事業目的	白石市は自然に恵まれ、歴史的な文化資産も豊富な地域ですが、新型コロナウイルスの影響が落ち着いた後も、土日や祝日でもイベントがない日は人の行き来がほとんどなく、街の活気が失われています。地域住民が地域を愛し、誇りを持つことが、自発的な活動を生み出す鍵となります。住民自らが地域の魅力を再認識し、積極的に地域の良さを伝えることが求められています。 また、白石和紙という貴重な地域資源がありながら、その文化的価値や可能性が十分に活かされていない現状があります。特に、国内外のアーティストからは「和紙を使いたいが入手が難しい」「作品制作のための場所が限られている」という声が多く寄せられています。この課題を解決するためには、国際的な文化交流を進め、白石和紙の認知度を高めることが重要です。 これらの課題を解決するために、「アーティスト・イン・レジデンス」プログラムを通じて、白石和紙を使った作品制作を行い、地域住民との交流を深め、地域アイデンティティの向上を目指します。
事業内容	1 アーティスト・イン・レジデンスの実施 期間：2025年12月15日～2026年1月8日(予定) 場所：白石中学校裏のアーティスト・イン・レジデンス施設 内容：令和5年に壽丸屋敷で開催された白石和紙を用いた国際グループ展「WORKS ON 白石和紙」に参加したアーティストの藤田恵梨子氏とアマンダ・スミス氏（アメリカ、インディアナ大学の准教授）をペアで招聘し、白石和紙を用いた作品の制作を行います。今回は和紙の原料、楮の収穫から生産の過程に合わせて冬季期間に白石へ滞在し、和紙のリサーチを交えた作品作りを実施します。また、白石高等学校の美術部の生徒と共に作品を制作し、アーティストとの国際交流の機会も提供します。



国内外の作家が白石和紙を使用して制作した、作品の展示会が、仙台市青葉区で開かれています。

展示会は白石市の特産である白石和紙の魅力を知ってもらおうと、12月20日から青葉区で開かれています。会場には国内外の12人の作家が白石和紙を使って制作した、絵画や版画など27点が並んでいます。広島市の美術家・藤田恵梨子さんは、今年4月に遠刈田温泉に滞在して作品の制作をしていた際に、白石和紙の魅力に気付き、知り合いのアーティストに今回の展示会の開催を呼びかけました。

藤田恵梨子さん

「こういった伝統的な歴史のある和紙の知名度が高まると思います」

展示会は入場無料で、12月25日まで開かれています。

※1

WORKS ON 白石和紙(仙台会場)



※1

WORKS ON 白石和紙(壽丸屋敷)

白石和紙使った
絵画や版画27点
仙台で作品展
丈夫でしなやかな白石市
特産の白石和紙を使った作
品展「WORKS ON
SHIROISHI WASHI」が20日、仙台市青
葉区国分町のギャラリーS
enで始まった。ギャラリ
ーは25日、作品展を最後に
約11年間の営業を終える。
国内外の作家12人が手が
けた絵画や版画など計27点
が並ぶ。イラストレーター
のアマンダ・スミスさん



※1

WORKS ON 白石和紙(仙台会場)



※1

WORKS ON 白石和紙(壽丸屋敷)

	2 白石市内施設での成果展 期間：2026年1月5日～1月31日のどこかで約1週間を予定 場所：検討中（白石駅前周辺） 内容： レジデンス期間中に制作された作品を展示。 12月21日（予定） ワークショップとアーティストトーク 地域の子供たちや住民が集い、滞在アーティストと交流する場を提供。和紙を用いた木版画のワークショップなどを実施し、白石和紙の魅力と特性を学ぶ機会を設けます。 木版画ワークショップ 木版画ワークショップ トークイベント
事業実施場所	・白石中学校裏のアーティスト・イン・レジデンス施設 宮城県白石市南町1丁目2-68 ・白石市内施設 白石駅前周辺を予定
事業実施期間	2025年4月1日 ～ 2026年2月15日
事業スケジュール	予定アーティスト、協力施設との事前相談 2025年8月1日～11月30日 アーティスト・イン・レジデンス滞在、作品制作 2025年12月15日～2026年1月8日 白石市内施設での成果展 2026年1月5日～1月31日のどこかで1週間程度
事業により期待できる効果	・アーティストと住民の交流を通じて、地域住民が白石和紙の魅力を再発見し、地域への誇りや愛着を深められる。 ・国際的なアーティストとの交流を通じて、白石和紙の認知度を国内外で高め、観光促進や地域の活性化を図ることができる。 ・子どもたちが作品制作に触れることで、創造性を育み、地域の伝統文化を次世代へ継承する機会を提供できる。

※1 別紙『第六次白石市総合計画地域別まちづくり宣言』一覧表から実現したい宣言の記号を記入してください。